

一歩前進

～落ち着いた雰囲気の中に活気のある学校をめざして～
3つの『あ』…「あいさつ・あきらめない・ありがとう」…をベースに

今年も残すところあと10日…

今年1年間に感謝!!

早いもので、令和7年も残すところあと10日となりました。1年＝365日のうち355日を過ごしたことになります。過ぎてしまえばあっという間ですね。



12月になると、日暮れが早くなり、寒さも増してくるなど、何だか寂しい気持ちになっていくのは私だけでしょうか？おそらく、1年が終わろうとしているのに、「あれもできず、これもできず、思うようにいかないまま終わってしまいそうだな」という後悔の念も加わっての気持ちかなと思います。

ただ、とにもかくにも、この1年間、元気に過ごせたことを、まずもって感謝したいと思います。

さて、学校の方も、明明後日から冬休みに入ります。年をまたいでの14日間のお休みです。クリスマス⇒大晦日⇒お正月と、子供たちにとっては、楽しみがいっぱいの冬休みです。暮れの大掃除など、家のお手伝いもたくさんさせていただいて、家族団らの時間を大切にしてお過ごしください。

そして、大晦日には、1年を振り返っていただき、正月には新しい年に頑張ることを話していただきながら、新しい年を迎えられる有り難さを家族全員で再確認し、感謝の気持ちとともに過ごしていただけたらと思います。



では、よい年をお迎えください!!

頑張った、持久走!!

12月18日(木)に桃田運動公園で「校内持久走大会」を実施しました。当日は、保護者の皆様に、たくさんのお手伝いとたくさんのお応援をいただきありがとうございました。天候にも恵まれ、おかげで、子供たちが一生懸命に走る姿・頑張る姿をたくさん

目にすることができました。

子供たちは、これまでの日々の練習＋本番と、先生方の熱い指導のもと、一生懸命に持久走(1,2年は約1.2km、3,4年は約1.8km、5,6年は約2.4km)に取り組みました。「長い距離を走る」ことは、とてもきついことですが、子どもたちは、長い距離を走る中で「自分自身に負けない心」「あきらめない心」「目標をもって挑戦しようとする前向きな心」をちょっぴり身につけてくれたことと思います。そして、走りきったことを自信に、また一回りたくましくなったのではないかと思います。

いつも言っていることですが、子供たちが乗り越えられる「多少の困難」は、取り除いてあげるのではなく、極力経験させていくことが大切です。持久走も「多少の困難」



の一つです。子供たちには、これからも押し寄せてくる「多少の困難」を次々と乗り越えながら、頼もしく成長していったほしいと願っています。

校長室から

11月27日～28日の2日間、6年生と一緒に長崎方面に修学旅行に行ってきました。

1日目は、昨年ノーベル平和賞を受賞された「日本被団協」の代表委員；田中重光さんによる平和学習講話をはじめ、原爆資料館・如己堂・平和公園等の見学、さらには平和祈念像前での平和集会和、戦争と平和についての学びを深める1日となりました。事前に積み重ねてきた学習を、自分の目でしっかりと確かめようと、真剣に学ぶ姿勢が印象的でした。

2日目は、佐世保市に移動し、ハウステンボスでの自由行動(班別行動)を満喫しました。どの班も、和気あいあい、男女関係なくみんなで協力し合いながら楽しい一時を過ごしました。子供たちも笑顔いっぱい!!それこそ、今の時代の「平和」を、身をもって実感することができたのではないかと思います。この平和が、永遠に続くことを強く願います。

そんな中、バスガイドさんたち(3名同行)からは、「今年一緒にいった修学旅行生の中で、一番良か子供さんたちでした。気持ちが良かったです。さすが、町小の子供たちですね。」と、これ以上ない褒め言葉をいただきました。各ご家庭の力、担任をはじめとした先生方の力、地域の力があってこそだと思います。感謝です!!

